



私立・国立学長対談

全国六百余りの大学で新学期が始まる。少子化で大学入学年齢の十八歳人口が減る傾向にある上、進む国際化やコンピュータ化などで、社会が大学に寄せる期待も大きく変化しつつある。明治以来、国立に手厚かった文部行政も含め、日本の大学は変わらざるを得ない。大学はどこへ行くのか。きょうとあす、多角的に考えます。まず、私立大、国立大を代表する論客、加藤寛・千葉商科大学学長と中嶋嶺雄・東京外国語大学学長の対談を。(司会 社会部・高橋庄太郎)

では人間の能力の四〇％しか分らない。残りのE.Q.(心の知能指数)は、今の入試ではほとんど分らない。E.Q.の中に優れたものがあると、い

学力低下問題じゃない 入試多様化 教室に変化

最近、「学生の学力が低下した」という声をよく聞きます。加藤 学生は未来からの留学生だと考えている。未

に授業を完結させる「セミナー制」の方が、効果的な授業ができる。改善の余地は大いにある。

質の向上へ 質を高める工夫はあ

加藤 私学の場合、今でも理事長がつかみ金を渡して採用するケースがある。

多すぎるか 加藤 私学が学生の成績

加藤 私学が学生の成績

加藤

新しい工夫

加藤 入試のやり方は多様化し、AO入試やキーワードが増えた。入試の時期の幅も広がった。大学院

中嶋 大学の自由度は以前に比べて増したのではないですか。

中嶋 大学の組織が大きい変わり、百二十四単位のうち六十単位は他大

中嶋 国立では、四月から教授会ではなく評議会が

中嶋 日本には同じようなタイプの大学が多すぎる。個性のない大学は淘汰

国立

個性ない大学 淘汰進む 国際水準に 評価や試験

東京外大学長



なかじま・みねお 長野県生まれ。東京外大教授、同学生部長を歴任、一九九五年から現職。九八年から国立大学協会副会長。アジア太平洋大学交流機構(UMAP)事務総長。専門は国際関係論、現代中国学。63歳。

加藤 I.Q.(知能指数)が低いから学力とは

キーワード

AO入試 アドミッションズ・オフィス入試の略。アメリカで開発された選抜方式で、専門スタッフが、受験生の学力だけでなく、生徒会、ボランティアなどの活動や意欲を総合的に判断して可否を判断する。日本では約10年前に慶応大学が導入した。ここ2、3年、急速に拡大し、ほぼ1割の大学が何らかの形で実施しているという。一部の国立大も今春から導入に踏み切った。

独立行政法人化 公益性が高い業務を担う行政機関を国から切り離し、法人格を与えて独立させる方式。行革論議の中で浮上した。独立行政法人となっても運営は国費でまかなわれるが、民間の経営手法を取り入れて効率化できるとされる。政府内ではすでに国立病院や陸運局の自動車検査業務などの移行が決まっており、国立大学も同様に独立行政法人とする方向で検討されてきた。国立大学協会は「大学に効率化の視点はなじまない」と反対の立場を貫いている。自民党の教育改革実施本部は3月、国立大学法人などの名称で法人にした上で、大学の事情に配慮した特別法を定める方針を決めた。

5大学連合 東京にある単科系の国立大学5校(東京医科歯科、東京外国語、東京芸術、東京工業、一橋)による連携構想。昨年、学長同士の懇談をきっかけに検討が始まった。各大学の教官が専門分野を分担する共通授業や教養教育など、幅広い協力関係を築くことが考えられている。

「主張・解説」面、「声」欄は、きょうから新「オピニオン」面として模様替えし、場所を従来の4・5面から移動しました。左面では「テーマ企画」や解説を展開します。初日のきょうに続き、あすも大学問題の特集を特集します。4日からは「英語公用語論」をシリーズで取り上げます。「論壇」は火から土曜の週5回掲載、「ニュースのことば」や「一からわかる」解説、「対論」も随時掲載します。

読みごたえアップ 新「オピニオン」面

加藤 寛 千葉商大学長



かとう・ひろし 岩手県生まれ。慶応義塾大総合政策学部の初代学部長を経て現職。慶大名誉教授。一九九〇年から政府税制調査会会長。公共選択学会会長。専門は比較経済体制論、公共経済分析論。73歳。

